

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

1 産地基幹施設等支援タイプ  
I 産地競争力の強化を目的とする取組用

（都道府県名：宮崎県 令和6年度）

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー① 類別	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績① (対象作物・畜種等名)②	メニュー② 類別	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時(R3年)	1年後(R4年)	2年後(R5年)	3年後(R6年)	目標値(R6年)	達成率				計画時(R3年)	1年後(R4年)	2年後(R5年)	3年後(R6年)	目標値(R6年)	達成率			交付金	都道府県費	市町村費	その他				
宮崎市	宮崎県農業協同組合宮崎地区本部	野菜(きゅうり)	当該品目の上位規格品の割合の増加	①JA宮崎中央 出荷数量 7,485,511kg ②JA宮崎中央 AS品数量 2,342,700kg ③AS品率 31.3% (②/①)	①JA宮崎中央 出荷数量 7,100,444kg ②JA宮崎中央 AS品数量 2,308,790kg ③AS品率 32.5% (②/①)	①JA宮崎中央 出荷数量 6,645,246kg ②JA宮崎中央 AS品数量 2,675,875kg ③AS品率 40.2% (②/①)	①JA宮崎中央 出荷数量 6,377,184kg ②JA宮崎中央 AS品数量 2,644,015kg ③AS品率 41.4% (②/①)	①JA宮崎中央 出荷数量 8,324,000kg ②JA宮崎中央 AS品数量 3,604,300kg ③AS品率 43.3% (②/①)	84.1%	野菜	EG3	現行の上位規格品の削減	JA宮崎中央 出荷規格 19規格 JA宮崎中央 出荷規格 19規格 JA宮崎中央 出荷規格 19規格 JA宮崎中央 出荷規格 10規格 JA宮崎中央 出荷規格 10規格	JA宮崎中央 出荷規格 19規格 JA宮崎中央 出荷規格 19規格 JA宮崎中央 出荷規格 19規格 JA宮崎中央 出荷規格 10規格 JA宮崎中央 出荷規格 10規格	100.0%	381,480,000	173,400,000	0	0	208,080,000	R6.10.3	選果機を導入できたことにより、安定した出荷体制の構築が図られたが、天候不順による生育不良や病気等により産地全体としての生産量が落ち込んだ。関係機関や指導員等と連携し、防除・予防等の指導徹底を図り、上位規格品の割合増加の目標達成を目指す。	日本一のきゅうりの産地として、安定した出荷体制の構築が図られたが、生育初期の高温等により産地全体の生産量が落ち込んだ。今後も、JAの常葉指導員や普及組織と連携した産地への指導により、上位規格品の割合増加の目標達成できるよう支援を行う。					
宮崎市	宮崎ひなたファーム(株)	野菜苗(きゅうり、ピーマン、トマト類等)	当該品目の10a当たり収量の増加	①育苗本数 161,699本/10a ②育苗面積 1.7ha ③10a当たり収量 161,699本/10a	①育苗本数 0本/10a ②育苗面積 0ha ③10a当たり収量 0本/10a	①育苗本数 0本/10a ②育苗面積 0ha ③10a当たり収量 0本/10a	①育苗本数 634,014本 ②育苗面積 0.5ha ③10a当たり収量 126,802本/10a	①育苗本数 1,085,000本 ②育苗面積 0.5ha ③10a当たり収量 217,000本/10a	-63.1%	野菜苗(きゅうり、ピーマン、トマト類等)	EG15	当該品目の全出荷量に占める契約取引の割合の増加	契約取引の割合 0% ①育苗本数 0本 ②契約本数 0本 ③契約取引の割合 0%	契約取引の割合 0% ①育苗本数 0本 ②契約本数 0本 ③契約取引の割合 0%	契約取引の割合 100% ①育苗本数 634,014本 ②契約本数 0本 ③契約取引の割合 0%	契約取引の割合 100% ①育苗本数 634,014本 ②契約本数 0本 ③契約取引の割合 0%	契約取引の割合 37.3% ①育苗本数 1,085,000本 ②契約本数 0本 ③契約取引の割合 37.3%	268.0%	390,456,000	177,480,000	0	17,748,000	195,228,000	R6.2.29	施設内の環境管理を適正に行うことで生産は安定しているが、施設整備後1年目ということもあり、当初計画していた一部の販売先が別の業者から前を確保していたことにより、県内出荷量が最も多い8月から10月の出荷量が思うように伸びず、10a当たり収量増加の目標達成には至らなかった。今後、関係機関と連携し、供給体制を整備するとともに、更なる販路拡大を図り、10a当たり収量増加の目標達成を目指す。	当初計画していた販売先が別の業者から前を確保したことにより、県内出荷量が最も多い8月から10月の出荷量が思うように伸びず、10a当たり収量増加の目標達成には至らなかった。今後、関係機関と連携し、供給体制を整備するとともに、更なる販路拡大を図るよう指導を行う。		
小林市、高原町	宮崎県農業協同組合ばやし地区本部	野菜(ピーマン)	全出荷量に占める契約取引の割合の増加	契約割合 38.0% 全出荷量 1,065,774kg 契約取引量 405,393kg	-	契約割合 34.1% 全出荷量 872,786kg 契約取引量 297,870kg	契約割合 32.6% 全出荷量 770,876kg 契約取引量 251,407kg	契約割合 57.3% 全出荷量 1,135,000kg 契約取引量 650,000kg	-27.9%	野菜(ピーマン)	EG10	当該品目の単位の販売額の増加	単位面積当たり販売額 3,624千円/10a ①面積 1,200a ②生産量 1,065,774kg ③販売金額 434,916,177円	単位面積当たり販売額 3,327千円/10a ①面積 1,250a ②生産量 967,252kg ③販売金額 415,870,548円	単位面積当たり販売額 3,828千円/10a ①面積 1,068a ②生産量 872,786kg ③販売金額 409,195,985円	単位面積当たり販売額 3,077千円/10a ①面積 1,068a ②生産量 770,876kg ③販売金額 479,033,989円	単位面積当たり販売額 3,981千円/10a ①面積 1,240a ②生産量 1,135,000kg ③販売金額 493,600,000円	-156.0%	43,780,000	19,900,000	0	0	23,880,000	R5.12.18	選果施設のライン増設により機能強化や自動化により増産に対応した体制を整備したが、高温や天候不順等の気象的影響により、品質・収量が低下し目標は未達となった。また、単位面積当たりの販売額は増加したが、物価高騰等により市販価格も高騰したことから採算補正した実績値では、目標未達となった。今後は、研修会や現地指導の徹底を強化し、気象的影響等にも対応した更なる技術向上を図ること、収量の増加や品質向上につなげた目標達成を目指す。	選果施設の強化等により増産に対応した体制を整備したが、夏秋期の想定を上回る高温や冬の天候不順等の気象的影響により、品質・収量が低下し目標は未達となった。引き続き、関係機関が連携し、高度な栽培技術の指導等を実施するとともに、収量の増加や品質向上につなげた支援を行う。		

都道府県平均達成率 47.3% 総合見解 県平均達成率は47.3%となった。3事業全てにおいて、十分な成果が得られていない。主な原因としては、天候不順、病害虫の発生や栽培管理不足等により安定的な出荷量の確保や品質の向上が図れず、目標を達成することができなかった。このため、今後も過期栽培指導等、関係機関一体となった支援を実施し、収量・品質のさらなる向上・安定化を目指し、早期の目標達成につなげたい。

- (注) 1 別紙様式1号の1の(2)の1に準じて作成すること。  
2 要綱第3の2の(2)のアの(ア)のただし書きの場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。  
3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。  
4 事業実施主体の評価、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。  
5 「総合見解」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。  
6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標値の達成率の平均値とする。